

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の顔つきが明るくなっており、買上点数も増加している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・台風、水害、地震と景気回復の障害となる天変地異が続く10月であったが、11月後半以降やや落ち着きを取り戻し、客の表情にもゆとりがある。来客数も増加している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・今月10日より8時閉店になり、ある程度来客数が増加している。ボーナスが出ることを見込んで下見に来る客が多い。今は売上にはあまり結び付いていないが、色々と質問をし、買う意欲がある客が多く来店している。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・買物の仕方は依然シビアではあるが、ファッションや化粧品では高価でもより高品質なものや効果性の高い商品がよく売れている。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・1人当たり購入点数の増加が継続してみられるようになっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・特に新しい商品は出ていないが、先月今月とも売行きは好調である。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が増え、販売量も増えている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	販売量の動き	・気温の低下とともにこたつなどの季節商品が動いている。若干の買い控えはあるものの売上回復の望みがある。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は天候に恵まれ、紅葉狩りの行楽客が平日でもしばしば来店している。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑と台風の影響がようやく薄れ、年末に向けて購買意欲が高まっている。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・まだ不安定な要素はみられるものの、客単価は下げ止まっており、来客数も少し増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・大口の忘年会予約も入り、今シーズンは出足好調である。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・今月中旬から年末キャンペーンを始めている影響もあり、新規契約数は着実に増加している。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新潟県中越地震や最近北海道で起きた地震の影響もあり、東海地震への不安から、低価格かつ耐震構造を備えたアパートの建設需要が特に大きな被害が想定される地域で増加している。		
変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・日によって良い日と悪い日がある。客単価は依然として低い。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・3か月ほど前から客単価がまた一段と低下しており、販売量も減少してきている。来客数はそれほど変化していないが、自家消費の商品が売れないのが1番大きな原因である。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量は店によって非常にばらつきがあり、良い店舗も悪い店舗もある。全体で見ると先月から良くも悪くもない。	
	商店街（代表者）	単価の動き	・高額なものでも動くようなマインドが出てきている。	
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ないうえに客単価も低い。	
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・他業種の人からも景気が悪い、客単価が上がらない、必要なものしか買ってくれないとの感想をよく聞く。しかし、買いつぶりが良い人もたまにいる。	
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・会社の業績は7割以上向上しているが、雰囲気としてはまだまだ不景気という感じがする。	
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・暖かい日が続き、防寒類のコートなどの売行きが悪く、購入客数は少ない。	
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・土曜日、日曜日が1日少ないため来客数、購買単価は低下している。お歳暮ギフトの売上も低迷している。	

百貨店（経理担当）	販売量の動き	・婦人服、婦人雑貨などで売上が増加しつつあるが、他の商品を含めた全社の売上では上向いていると言える金額ではない。
スーパー（経営者）	競争相手の様子	・売上が伸びないため毎月前年割れである。他店との価格競争になっている。安い商品だけ売れ定番が動きにくい。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・客は相変わらず、広告を見比べながら店から店へと渡り歩いている。大型店も次々に出店しており、傾向がなかなかつかめない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は依然として回復傾向になく、前年の96%前後で推移している。買上点数も前年比0.7ポイント減となっている。
スーパー（店長）	単価の動き	・食料品等は若干の単価上昇傾向がみられるが、ファッション商品を含め全体的には単価上昇には大きくつなげていない。
スーパー（店員）	お客様の様子	・低単価商品目当ての客が多い。季節物では鍋物の動きが良くなっており単価が多少高くても動いているが、それを買うと他の商品は低単価品しか買わないため、客単価は以前と全く変わっていない。
スーパー（店員）	単価の動き	・来客数に変化はないが、売上は以前より落ちている。客単価が低下しているのが原因である。
スーパー（店員）	単価の動き	・今年は台風、大雨の影響で野菜の価格が高騰したが、最近は元に戻りつつある。それにもかかわらず、1人当たりの買物点数、単価は非常に低い。
スーパー（仕入担当）	単価の動き	・月末にかけて野菜の相場は戻りつつあるが、依然として以前よりは高く、消費者の購買意欲を下げている。鶏卵の相場も高値が続き、いちごも非常に高騰している。
コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・自店の周辺でスーパーが1店、コンビニが3店酒類免許の申請を出しており、競争がいよいよ厳しくなる。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・天候にも恵まれ年賀状、ギフト、ボジョレヌーボーなど季節品はおおむね前年をクリアしている。しかし全体の売上の前年割れは続いている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・今月は寒さもさほど厳しくなく、秋冬商品の売上はいま一步である。売上前年比も100%をクリアできていない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合状況は相変わらず厳しいが、天候が比較的良好なこともあり特に週末の来客数に伸びがみられる。
コンビニ（商品開発担当）	お客様の様子	・客の買物の仕方は依然としてシビアである。
コンビニ（売場担当）	単価の動き	・名古屋地区の売上は対前年でみると横ばいである。それ以外の地域では若干減少している。
衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量の動きはあまりない。
衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・消費者の購買意欲は相変わらず低い。単価の下げ止まりはみられるが、高単価品の販売量は伸びていない。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が増えている。ボーナスをあてにしたローン支払の客の来店も増えている。ここ3か月間、来店客の購買意欲は月を追うごとに高まっている。
乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・競争相手の様子を見ると、閉店する店、少し良くなってきている店、全く在庫が動かない店と様々である。良いところは良く、悪いところは悪いという差が出てきている。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・新潟県中越地震の影響が買い控えがみられる。その一方で、震災に備えて車中で寝られる車を探す客もいる。 ・各社とも新車攻勢をしているが来客数は思ったほど増えていない。ガソリン価格の高騰もあり、客は燃費や維持費を大変気にしている。商談の途中で小型車に変更したり、購入を延期したりするケースも多い。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・持家住宅、公共物件、民間設備投資とも横ばいである。また、価格競争が激化している。
その他小売【貴金属】（経営者）	販売量の動き	・自然災害や世情不安が影響して、客は生活にゆとりがない様子である。

	スナック（経営者）	来客数の動き	・名古屋の繁華街の1等地に移転オープンして1か月たつが、客入りはいまひとつである。他の店でも今月は忙しそうなお客は少なく、移転しても経営は厳しい。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月前半は街の出入りが少なく、ボーナスが出て忘年会シーズンにならないと良くないのではないかと思っていたが、後半になって少しずつ出入りは増えてきている。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・例年この時期は年末年始の予約が多いが、今年はその傾向があまりみられない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・名古屋市内では地下鉄や新線の開業などによる交通網整備に伴って、タクシー利用が減少している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・なじみ客も少なくなっており、深夜になっても客待ち時間が相変わらず長い。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は日曜、祝祭日で日柄の良い日は結婚式などの客が増えている一方で、暖かい日が多いためタクシー利用客は例年よりも減っている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・2～3年前から状況はほとんど変わっておらず、困っている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・秋の行楽シーズンながら、当園の来客数は少なめに推移している。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・11月はゴルフシーズンであるにもかかわらず、各ゴルフ場において来場者予算の達成が厳しい状況にある。厳しいままで継続している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・10月は少し景気が良かったが、今月は暑さの影響があった8、9月と同じである。客からも給料が上がらないという話をよく聞く。
	設計事務所（職員）	それ以外	・この時期は、5年ほど前までは正月を迎える前に家を修繕して欲しいとの仕事が入っていたが、近年ではなくなっている。今年も財布のひもは固く、大きな問題がなければ我慢する傾向が続いている。
	住宅販売会社（業務担当）	単価の動き	・競争激化で単価は低迷している。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・またスーパーが1店開店し、競争相手が増えている。（自転車）修理への影響は少ないが、販売には打撃を受けている。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・来客数がやや減っている。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・特売品は完売するが他の商品は動いていない。安いものしか買わないことが当たり前になっている。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・例年になく穏やかな日が続いており、来客数は昨年を上回っている。しかし、秋冬の季節商品の動きが非常に悪い。特に清酒、焼酎などの売行きが悪く、客は商品を手に取るが結局買わずじまいのことが多い。購買意欲の乏しさが際立っている。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・11月に入り暖かい日が続いている影響もあり、コートなどの防寒商材の動きが全く止まっている。防寒商材は単価も高いため、その売行き不振により店全体の売上はかなり落ち込んでいる。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・前年に改装し来客数が増加している反動で、来客数は伸び悩んでいる。
	百貨店（外商担当）	販売量の動き	・暖冬の影響で店頭売上は最悪である。外商でも客から本当に景気が悪いと言われることが非常に多いが、お付き合いで購入してもらえらることもあるのが救いである。しかし店頭売上の落ち込みが大きく、全体では大幅なマイナスである。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・今月は来客数の減少が際立っている。他店でも来客数の減少傾向がみられる。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・季節的な要因もあり来客数は2.3%減少している。客単価も同じく2.3%低下している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・例年11月の週末は行楽客が結構来るが、今年はその数が極端に少ない。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・客は余分な物なるべく買わないようにしている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・パンや菓子などメーカーのキャンペーン商品に対する客の反応が以前より悪くなっている。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・高額商品の動きは悪くないので単価は低下していない。しかし販売量は前年比でやや減少している。

	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・例年この時期は年末商戦で活発な動きがあるが、今年は鈍い。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・11月は通常なら増販月であり市場の盛り上がりを実感できるが、今年は月の前半に感じた程度である。受注台数も前月を下回っており、売上単価の低下によって利益確保はますます難しくなっている。
	自動車備品販売店 (経営者)	来客数の動き	・競合店が減っているにもかかわらず来客数は伸びておらず、駐車場がいっぱいになることは減多にない。売上も伸びていないが、買替え需要頼りであるため、売上の拡大は至難である。
	高級レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・平日の来客数の減少が続いていることに加えて、週末の来客数の伸びも鈍っている。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・今月は土曜日、日曜日が1日ずつ少ないため、前月と比べて悪くなっている。
	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・来年の愛知万博開催を控えて、関東、関西方面から当地域への旅行が最近抑えられており、宿泊客数は減少している。
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・前年比で宿泊稼働率は低下している。
	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊稼働率、来客数、会議収入とも動きが鈍くなっている。
	旅行代理店(経営者)	それ以外	・名古屋は元気と言われるが、サービス業ではその実感はない。入居している名古屋駅前ビル街でも同様である。
	旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・焼津の旅館では春先は浜名湖花博開催の影響で良かったが、その後は猛暑の影響もあり落ち込み、秋も昨年ほどには予約は伸びていない。来客数の動きが鈍い。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・正月旅行の予約時期であるが、予約件数は思ったより少ない。売上、販売量の伸びもなく今後が少し不安である。
	通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・他社との値引き競争で減益が見込まれるため、収益を維持するのは大変である。
	パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数が減少している。
	パチンコ店(店長)	来客数の動き	・来客数が減少している。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・前年、前月に比べて来客数は少しずつ減少している。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・客の回転は相変わらず悪い。
	美容室(経営者)	競争相手の様子	・美容院の新規出店が増えており、競合が厳しくなっている。
	理美容室(経営者)	来客数の動き	・客との会話の中で、灯油価格が値上がりしている影響で出費を切り詰めているという話をよく聞く。
	設計事務所(営業担当)	お客様の様子	・不景気すぎて仕事がない。
	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・広告をしても客の動きはほとんどない。あっても資金のない客が多い。
	住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・分譲住宅の売行きが良くなることを期待していたが、市場は冷えきっており、それほど増えていない。
	住宅販売会社(企画担当)	来客数の動き	・今月も従来と同じ枚数のチラシ広告を出しているが、客からの反応は従来の8割程度に落ち込んでいる。
	悪くなっている	家電量販店(店員)	販売量の動き ・とにかく売れない。来客数も販売量も減少している。昨年と比べても明らかにダウンしている。
企業 動向 関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き ・3か月前と比較して9.7%の減収となっているが、仕入れ原価を低減できたため25.7%の増益となっている。
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き ・受注量、販売量とも7~8%ほど増加している。
		鉄鋼業(経営者)	受注量や販売量の動き ・鉄鋼メーカーの好業績に引っ張られ、販売単価は徐々に上昇してきている。
		電気機械器具製造業(従業員)	取引先の様子 ・現在メインの取引先が好業績を上げており、クレーム処理についても金銭的負担を強いられることが少なくなっているため、利益を確保しやすい。

	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・プラズマディスプレイ、パソコンその他のハイテク関連製品の出荷量が増加している。
	輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・主要荷主の出荷量が増えてきている。物流センター扱いの1週間当たりの荷物量は、10トン車換算で700台から900台に増えており、トラックも200台から250台へ増えている。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・人材派遣業などで活気がみられ、お金も予定通りに流れている。
	公認会計士	それ以外	・顧客企業では、黒字に転化し税金が発生する会社が増加している。冬の賞与に関しても、これまで支給できなかった会社が支給したり賞与支給月数を増やしたりする会社が散見される。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・当地域の元気を反映して仕事量は増加している。受注案件を選択している状況である。
	その他非製造業〔デザイン〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は安定してきている。
変わらない	印刷業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・仕事量は上期よりも下期のほうが減少している。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売量はまずまずだが、素材価格が高騰しており採算は厳しい。客に価格転嫁の要請をしている。
	化学工業（企画担当）	それ以外	・生産ラインで求人しているがなかなか充足できない。派遣会社、請負会社によると、愛知万博、中部空港関係や自動車業界などの求人が多く、現場要員の供給は特に逼迫しているという。
	化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売量とも動きは停滞しており、価格も上昇していない。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・天災関係の仕事が増えている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・原油価格が相変わらず高止まりしているが電力料金は値下げになるため、客先と単位当たり1～2円で攻防しており、受注決定が遅れる状況である。 ・他社と一部の部品で競合しているため、鋼材、購入品を取り合う状況にあり、生産量にも若干ながら影響が出ている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受託製造の売上は客先の生産調整などによって半減している。競争激化によって納期もさらに厳しくなっている。その一方で、監視カメラなどの市場は拡大傾向にあり売上は伸びてきている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・都市部では通信インフラの整備がほとんど終わったため、景気は3か月前とほとんど変わっていない。
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・いわゆる勝ち組産業からの受注、引き合いがある一方で、負け組産業からの受注は全くない。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・業種によっては資金需要が出てきているが、全体的にみるとまだ少ない。また、手持ち資金による対応が中心で非常に手堅い。
	企業広告制作業（経営者）	取引先の様子	・受注しても売上は増えないなど構造的な問題がある。
	広告代理店（経営者）	競争相手の様子	・客先からの条件は以前より悪くなっており、企画競争への参加を辞退する業者が出ることもある。
	やや悪くなっている	税理士	受注価格や販売価格の動き
金属製品製造業（従業員）		受注価格や販売価格の動き	・低価格競争が相変わらず続いており、非常に忙しいにもかかわらず、原材料高を吸収できないどころか利益率の低下が止まらない状況にある。
電気機械器具製造業（従業員）		受注量や販売量の動き	・暖冬により秋冬物コート類の消費が伸びない影響で、縫製業界では設備投資をする状況になっておらず、売上は伸び悩んでいる。
	輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・主要取引先の自動車メーカーは現在再生中であり、将来的には仕事が増える可能性は高いが、足元の生産量は減少してきている。12～1月の生産計画はかなり低くなる見込みである。

		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・温暖な日が続いており、冬物衣料を始め季節商品の消費が冷え込んでいるため物流も低調である。貸切輸送の受注件数にさほど変化はないが、ロットが小さくなっており、運賃も低下傾向にある。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前は猛暑も手伝い飲料水の出荷が多かった。しかし現時点では寒さがまだ本格的でなく、冬物商品が動いていない。加えて、地震、台風の影響か人の動きがあまりなく、観光商品などの消費財の出荷が例年に比べて多くない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・出稿量自体はそれほど変わっていないが、定期的に依頼されていたものが保留または延期になるケースもある。
		広告代理店（経理担当者）	受注量や販売量の動き	・固定客以外の注文が減少しており、販売量の伸びは低下している。
	悪くなっている	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・原料高を販売価格に転嫁できない状況が続いている。
		経営コンサルタント	それ以外	・不動産の購入の動きが止まっている。
雇用関連	良くなっている	職業安定所（所長）	求人数の動き	・月間有効求人倍率は2.19倍と非常に高い。特に自動車関連企業からの求人が増加している。求職者も減少しており、事業主都合による解雇も減っている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・追加求人、秋採用とも積極的である。業界別では介護、化学薬品、塗料、地方銀行、繊維、航空貨物、金属、食品卸、教育、不動産販売、通信、倉庫業、鉄鋼商社、ペット販売などの求人意欲が強い。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・忙しいので早く人を入れて欲しいとの派遣依頼が多く、人材不足が続いている。
人材派遣会社（社員）		求職者数の動き	・派遣スタッフが恒常的に不足しており、登録スタッフのほとんどが仕事に就いている。	
職業安定所（職員）		求職者数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前に比べて月間有効求人数が0.4%減少しているが月間有効求職者も5.9%と大幅減少しているため、0.03ポイント上昇して1.29倍となっている。前月比でも0.03ポイントの上昇である。 ・業種別の新規求人は、前年同期比で電機器具製造業が94.3%、製造業が27.1%、輸送用機械製造業が34.8%増加している。その一方で、建設業が36.6%、サービス業が9.3%、卸小売業が3.4%減少している。全体では6.4%の減少である。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にある。特に派遣、請負の求人が急激に増加している。
変わらない		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	・11月末に実施した転職フェアへの参加企業は通常の1.5倍と大変な活況であった。募集内容の大半は技術職と派遣である。技術職は正社員募集が増えているものの、その他の職種では非正規雇用が相変わらず多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告全体の売上は前年を超えている。特に自動車製造業関連の期間工募集や製造、建設業関係の請負業のパート、アルバイト募集の増加が顕著である。しかし一般企業の正社員求人は横ばいであり、全体で見ると特に良くなっていない。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・前年同期と比較すると求人数の増加はみられるが、派遣や請負による有期雇用求人が中心で雇用は相変わらず不安定であり、中高年齢層には厳しい雇用状況が続いている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・製造業を中心に新規求人は増加傾向を続けている。しかし採用条件は好転しておらず、賃金ベースも低レベルで推移している。就職件数も伸び悩んでいる。
		職業安定所（管理部門担当）	求職者数の動き	・新規求職者、雇用保険受給資格決定件数とも対前年同期比で2けた台の減少となっている。また、10月末現在の新規高等学校卒業予定者の就職決定率は平成13年度以降で最高になっている。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は3か月前と同様である。正社員を派遣やパートに置き換える内容が大きな割合を占めている。

やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数は3か月前と比較するとやや少ない。もっとも、3か月前の求人は特に高いレベルであったため、他の月と比較すれば悲観するほどではない。
悪くなっている	-	-	-